

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月7日

上場会社名 株式会社ラック 上場取引所 東
 コード番号 3857 URL <http://www.lac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高梨 輝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 財務経理本部長 (氏名) 藏重 久則 TEL 03-6757-0100
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	7,090	3.8	130	—	96	—	0	—
25年3月期第1四半期	6,828	△2.6	△12	—	△51	—	△27	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △14百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △52百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.02	—
25年3月期第1四半期	△2.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	18,288	5,963	32.6	234.59
25年3月期	19,250	6,194	32.0	243.10

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 5,953百万円 25年3月期 6,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,405	4.5	375	△23.3	285	△30.8	65	△63.6	2.56
通期	34,000	4.4	2,100	5.1	1,950	5.4	1,000	9.6	39.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	26,683,120株	25年3月期	26,683,120株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,306,230株	25年3月期	1,305,440株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	25,377,308株	25年3月期1Q	25,378,372株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 連結業績及び連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る数値です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れによるリスクはあるものの、新政権の経済政策への期待などから円高の是正、株価の回復などを背景に景気は持ち直してまいりました。

当社の属する情報サービス業界では、システム開発や関連商品販売などにおいて案件の小型化や提供サービス価格の低減要請が見られるなど、企業のIT投資は依然慎重姿勢が残るものの、金融分野など一部に復調傾向が見られたうえ、情報セキュリティ対策への投資は、引き続き堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社は、ビジネス企画機能を統合した新組織「ビジネスディベロップメント本部」を設置し、セキュリティとシステム開発の技術融合による新たなビジネスモデルの創出(独自性)、より巧妙化するサイバー攻撃手法に対応した、企業や官公庁内にセキュリティ監視センターを構築し運用を支援する内部監視システム「P SOC」など、既存サービスを融合させた新たな情報セキュリティサービスの拡充(安心安全)、3事業の顧客基盤の共有化(営業体制の一本化)など、3つの重点施策を掲げ事業拡大に取り組んでおります。

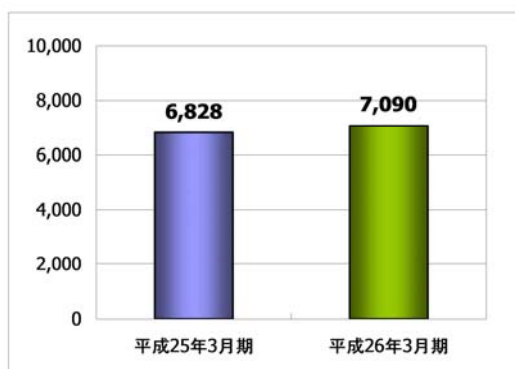
当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は3事業ともに増収となり、70億90百万円(前年同四半期比3.8%増)となりました。利益面では事業強化に向けたセキュリティ運用監視サービスのシステム刷新に伴うシステム運用費の負担増や、システムインテグレーションサービス事業におけるシステム開発案件でのコスト先行投入などにより売上総利益はほぼ横ばいであったものの、前年同四半期にあった統合関連費用がなくなったことや、労務費、その他営業費用などの抑制により販売費及び一般管理費が減少し、営業利益は1億30百万円(前年同四半期は営業損失12百万円)、経常利益は96百万円(前年同四半期は経常損失51百万円)、四半期純利益は0百万円(前年同四半期は四半期純損失27百万円)となりました。

当第1四半期連結累計期間における業績の前年同四半期比は次のとおりであります。

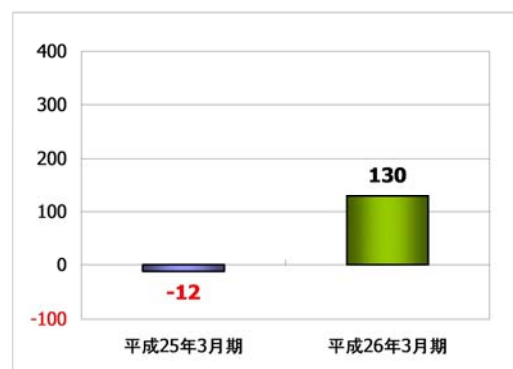
(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年6月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	6,828	7,090	262	3.8
売上原価	5,513	5,775	262	4.8
売上総利益	1,314	1,315	0	0.0
販売費及び一般管理費	1,327	1,184	△142	△10.7
営業利益	△12	130	142	—
経常利益	△51	96	148	—
四半期純利益	△27	0	28	—

[連結売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[連結営業利益の前年同四半期比 単位:百万円]



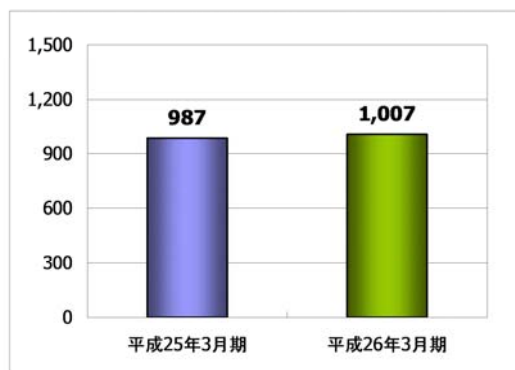
セグメントの業績は次のとおりであります。

セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

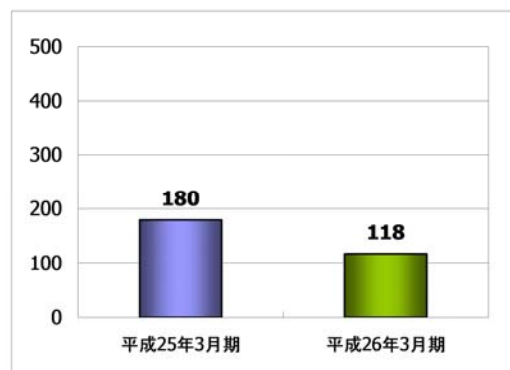
（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年6月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
セキュリティ コンサルティングサービス	379	289	△90	△23.8
セキュリティ 診断サービス	155	178	22	14.7
セキュリティ 運用監視サービス	451	539	88	19.5
売上高	987	1,007	20	2.1
セグメント利益	180	118	△62	△34.5

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



セキュリティコンサルティングサービスは、標的型メールによるサイバー攻撃などによるセキュリティ事故が後を絶たないなか、緊急対応サービスの受注はほぼ前年同四半期並みであったものの、前年同四半期にあったセキュリティ対策支援の大型案件の反動や、前期末の子会社解散に伴う教育関連案件の減少により、売上高は2億89百万円（前年同四半期比23.8%減）となりました。

セキュリティ診断サービスは、既存顧客への深掘営業やレポート案件の獲得による受注拡大、緊急対応サービスの提供を契機とする新規案件の受注などもあり、売上高は1億78百万円（同14.7%増）となりました。

セキュリティ運用監視サービスは、攻撃手法が一層巧妙かつ複雑化するなか、従来の外部からの侵入防御だけでなく、不正侵入を前提に内部から外部への情報流出を防ぐ対策への意識の高まりなどから新規受注が好調に推移し、売上高は5億39百万円（同19.5%増）となりました。

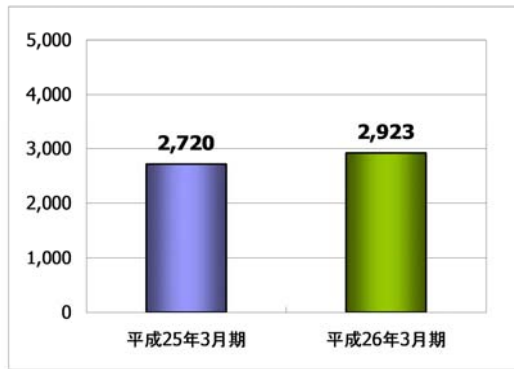
この結果、SSS事業の売上高は10億7百万円（同2.1%増）、セグメント利益は事業強化に向けたセキュリティ運用監視サービスのシステム刷新に伴うシステム運用費の負担増により1億18百万円（同34.5%減）となりました。

システムインテグレーションサービス事業（S I S事業）

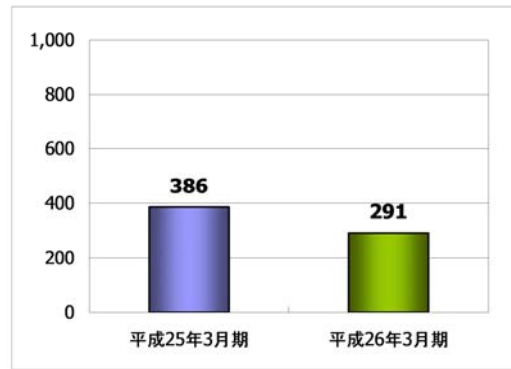
（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年6月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
開発サービス	2,720	2,923	203	7.5
売上高	2,720	2,923	203	7.5
セグメント利益	386	291	△95	△24.6

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



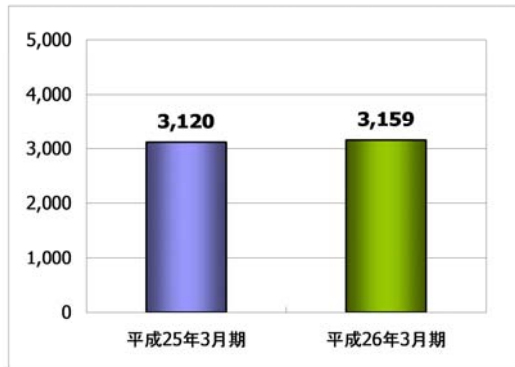
S I S事業の売上高は、開発サービスにおいて先送りされてきたシステム更新などの金融機関向け基盤系案件の受注が好調に推移し、29億23百万円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益はクレジットカード業向け大型統合案件でのコストの先行投入が発生したため2億91百万円（同24.6%減）となりました。

ディーラー事業

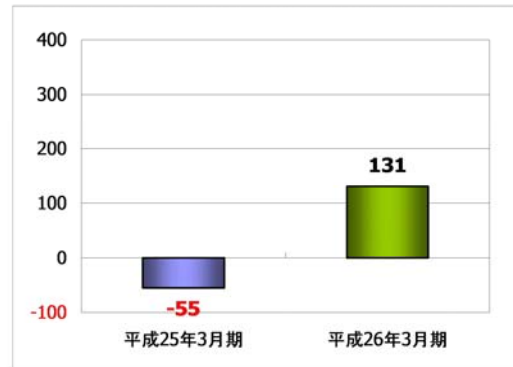
(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年6月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減比 (%)
HW/SW販売	1,332	982	△350	△26.3
IT保守サービス	1,650	2,043	392	23.8
ソリューションサービス	137	133	△4	△2.9
売上高	3,120	3,159	38	1.2
セグメント利益	△55	131	186	—

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



HW/SW販売は、証券業向け案件など一部に受注の改善が見られたものの、競争が一段と激化するなか、クラウドの活用や最適なシステム構築の要請などから案件の減少や小型化が進み、売上高は9億82百万円（前年同四半期比26.3%減）となりました。

IT保守サービスは、引き続き価格の低減要請があったものの、金融機関の営業店向けネットワーク機器更改案件が好調に推移し、売上高は20億43百万円（同23.8%増）となりました。

ソリューションサービスは、自治体向けシステム更新案件の受注が順調に推移したものの新規案件が伸び悩み、売上高は1億33百万円（同2.9%減）となりました。

この結果、ディーラー事業の売上高は31億59百万円（同1.2%増）、セグメント利益は比較的利益率の高い案件の増加により改善し、1億31百万円（前年同四半期はセグメント損失55百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億62百万円減少し、182億88百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少5億13百万円、受取手形及び売掛金の減少14億16百万円、前払費用の増加9億25百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億30百万円減少し、123億25百万円となりました。これは主に買掛金の減少5億15百万円、短期借入金の減少2億円、前受収益の増加13億29百万円、流動負債「その他」に含まれております未払金の減少5億61百万円、長期借入金の減少5億89百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億31百万円減少し、59億63百万円となりました。これは主に期末配当などによる利益剰余金の減少2億2百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は32.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の実績と今後の見通しを勘案し、平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間業績予想および通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,560,094	3,046,745
受取手形及び売掛金	5,013,017	3,596,689
商品	240,628	416,458
仕掛品	111,534	317,121
貯蔵品	1,494	883
前払費用	2,508,228	3,433,721
その他	834,268	805,625
流動資産合計	12,269,266	11,617,245
固定資産		
有形固定資産	1,026,509	983,822
無形固定資産		
のれん	2,447,225	2,332,511
その他	1,619,846	1,500,097
無形固定資産合計	4,067,071	3,832,609
投資その他の資産		
繰延税金資産	456,695	464,417
その他	1,431,371	1,390,753
投資その他の資産合計	1,888,067	1,855,170
固定資産合計	6,981,648	6,671,602
資産合計	19,250,915	18,288,848
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,054,660	1,538,953
短期借入金	200,000	—
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,031,000	2,006,000
未払法人税等	140,977	67,294
前受収益	2,525,517	3,855,143
賞与引当金	73,716	44,849
受注損失引当金	19,572	35,353
その他	1,970,241	1,292,588
流動負債合計	9,115,686	8,940,182
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	3,723,000	3,133,750
退職給付引当金	75,638	81,023
負ののれん	549	—
その他	91,403	120,622
固定負債合計	3,940,591	3,385,396
負債合計	13,056,277	12,325,579
純資産の部		

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	3,622,860	3,622,906
利益剰余金	1,856,299	1,653,810
自己株式	△331,914	△332,524
株主資本合計	6,147,244	5,944,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,854	△19,543
為替換算調整勘定	19,168	28,583
その他の包括利益累計額合計	22,023	9,040
少数株主持分	25,369	10,037
純資産合計	6,194,637	5,963,269
負債純資産合計	19,250,915	18,288,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	6,828,122	7,090,584
売上原価	5,513,296	5,775,299
売上総利益	1,314,825	1,315,284
販売費及び一般管理費	1,327,522	1,184,997
営業利益又は営業損失(△)	△12,697	130,286
営業外収益		
受取利息	62	54
受取配当金	685	685
負ののれん償却額	549	549
保険解約返戻金	6,873	—
その他	2,343	3,268
営業外収益合計	10,514	4,557
営業外費用		
支払利息	25,281	15,996
為替差損	339	8,736
支払手数料	20,481	10,920
その他	2,935	2,222
営業外費用合計	49,038	37,875
経常利益又は経常損失(△)	△51,221	96,968
特別利益		
負ののれん発生益	59,478	—
特別利益合計	59,478	—
特別損失		
固定資産売却損	—	531
固定資産除却損	1,260	250
リース解約損	387	—
特別損失合計	1,647	781
税金等調整前四半期純利益	6,609	96,186
法人税、住民税及び事業税	6,972	54,901
法人税等調整額	26,342	43,390
法人税等合計	33,314	98,292
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26,704	△2,105
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,105	△2,638
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,810	532

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26,704	△2,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,800	△22,397
為替換算調整勘定	△6,338	9,635
その他の包括利益合計	△26,138	△12,762
四半期包括利益	△52,843	△14,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,410	△12,450
少数株主に係る四半期包括利益	566	△2,418

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	セキュリティソリューションサービス事業	システムインテグレーションサービス事業	ディーラー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	987,000	2,720,600	3,120,521	6,828,122	—	6,828,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	987,000	2,720,600	3,120,521	6,828,122	—	6,828,122
セグメント利益又は損失(△)	180,293	386,513	△55,176	511,630	△524,327	△12,697

(注) 1. セグメント損失の調整額△524,327千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間より「ディーラー事業」セグメントの一部を「システムインテグレーションサービス事業」セグメントへ変更したことに伴い、のれんの一部についてセグメントの変更を行っております。

なお、当該事象による「ディーラー事業」におけるのれんの減少額は968,693千円であり、「システムインテグレーションサービス事業」においては、同額のものれんが増加しております。

(重要な負のものれん発生益)

「ディーラー事業」セグメントにおいて、アイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社の株式を取得したことにより、負のものれん発生益が生じております。なお、当該事象による負のものれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては59,478千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	セキュリティソリューションサービス事業	システムインテグレーションサービス事業	ディーラー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,007,684	2,923,723	3,159,176	7,090,584	—	7,090,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,951	20,231	30,183	△30,183	—
計	1,007,684	2,933,674	3,179,407	7,120,767	△30,183	7,090,584
セグメント利益	118,176	291,303	131,504	540,984	△410,697	130,286

(注) 1. セグメント利益の調整額△410,697千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。